

事務事業名	ものづくり製品開発等支援事業(補助金)			会計	一般会計		事業種別	政策	開始	22	終了	
H27担当課等名	工業課		H27係等名	工業振興係		H26係等名	工業振興係					
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり									
	施策	13	新しい力による新しい産業づくり									
目的	対象(誰・何を)	新たに製品(試作)開発しようとする企業及び企業グループ					対象指標	指標名及び単位			26年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	新たな製品・要素技術を開発して、企業の安定成長と次世代を担う産業づくりを目指す						地域内事業所数(飯伊)			503	
	向上させたい上位施策の成果指標	粗付加価値額 飯田下伊那(億円)										
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	成果指標	製品(試作)開発された件数			10	0	10	10				
	定性目標											
事業概要	<p>新たな製品(試作)開発を行う企業や共同で取り組むグループに対して、製品(試作)開発等の取り組みに要する経費(すでに事業化され収入を得ている事業の費用や生産を目的とした機械設備の導入に要する費用等、営利活動に繋がる経費は除く)の一部を当市が補助することによって、当地域をけん引する製造業の国際競争力の強化と次世代を担う新産業の創出を促進し、製品の付加価値化及び新分野進出等の円滑化を図る。</p> <p>企業の共同・連携を誘発させるため、エリアは飯田下伊那とし、補助金の要綱及び運営は(公財)南信州・飯田産業センターが担う。ただし、審査にあっては、地域性及び地域貢献度も考慮して行う。</p> <p>対象者;飯田下伊那に生産拠点を有する中小企業者                  対象事業;中小企業が単独または他企業等と連携して新技術・新製品開発を行う事業                  補助率;対象経費の2/3以内(補助限度額1,000千円)</p>											
26年度事業内容	事業内容				名称				活動指標			
	1 国・県等の補助金に対する情報提供 (1)補助金概要説明会の開催 (2)個別相談会の開催 2 国・県等の補助金に対する相談サポート				1 情報提供回数 (1)説明会開催回数 (2)相談会開催回数 2 申請サポート件数				1 11回 (1) 0回 (2) 0回 2 20件			
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		3,278	0	0	0							
国庫支出金												
県支出金												
起債												
その他												
一般財源		3,278	0	0	0							
人件費計(千円)②		536	/	0	/							
正規職員所要時間		150										
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		3,814	0	0	0							
事業内容・目標達成状況の振り返り	同助成制度は、国・県等の補助金と重複部分があるため、国・県等の補助金に対する情報提供及び相談サポート業務を中心に取り組んだ。											
改革改善の考え方	①問題点	国・県補助金に申請する企業が増加しており、申請時のサポート体制が十分でない。										
	②改革提案	認定支援機関(金融機関等)と連携し、国・県補助金の情報提供とコーディネーターを中心に申請の相談サポートを強化する。										